

まえがき

2009年度地理学野外実習は、2009年9月25日～29日までの4泊5日の日程で実施した。昨年度同様、最初の2日間は巡検、その後3日は調査実習である。

参加者は今井、粕尾、小松、羽生、小岩井、細萱、丸山の学生7名と、引率の廣内先生を合わせた8名であった。

夜行高速バス、夜行寝台特急のあけぼので現地をめざし、集合は9:00にJR青森駅である。

初日の巡検では、三内丸山遺跡の見学、浪岡撓曲と津軽山地西縁断層帯の断層露頭を観察し、黒石温湯温泉の山賊館にて一泊した。2日目は十三湖、千畳敷、鱒ヶ沢の海成段丘を観察するというコースであった。2日間とも晴天に恵まれ、充実した巡検となった。

調査実習の拠点は弘前市で、石場旅館に宿をお世話になった。9月26日の夜は青森の郷土料理の貝焼きや特産品の軍鶏ロックを堪能し、翌日からは各々が事前より準備をしてきたテーマに沿って調査を実施した。調査は、歴史地震、治水・津波対策、変動地形や海成段丘と地殻変動など、各自が日頃関心を持っている分野からテーマを設定して取り組んだ。野外実習は昨年に続き2回目の取り組みであったが、各自が昨年の調査の反省点を活かし、資料収集や単独での現地調査、聞き取り調査を行った。実習前は3回の事前指導、実習終了後は3回の事後指導会が開かれ、廣内先生の丁寧なご指導の下、4年生は就職活動、卒業論文の調査、3年生は教育実習の合間をぬって調査準備や分析、まとめをした。本報告書はその成果をまとめたものである。各自の努力の成果と昨年度の調査を踏まえての成長を見て頂けたら幸いである。

最後に、調査にあたってお忙しい中、地図や資料の収集、聞き取り調査にご協力いただいた行政機関、団体、地域のみなさまに心から御礼申し上げ、ここに感謝の意を表します。

平成23年2月

細萱京子（信州大学教育学部自然地理学研究室4年）

2009 年度地理学野外実習報告Ⅱ

青森

【目次】

まえがき

歴史記録から見た明和津軽大地震の被害とその特徴 1

細萱京子

後長根川・旧十川における浸水被害と水害意識について 9

今井幸彦

青森県鰺ヶ沢町住民の津波避難意識について 20

丸山陽央

青森市浪岡地区における変動地形とその活動度 27

羽生孝史

津軽山地西縁断層帯五所川原市金木付近の変動地形 35

小岩井直人

鰺ヶ沢地域の海成段丘の旧汀線高度に基づく第四紀後期以降の隆起量と隆起速度 . 40

粕尾奈緒

あとがき